

## 区民の命を守る

## 「AED」コンビニに設置を提案

(29年第2回定例会 一般質問から)

○伊藤よしのり議員

次に、AEDについて伺います。

日本では、救急車が現場に到着するまでに平均約8分かかるといわれています。そのような中、心肺停止状態から3分での死亡率が約50%といわれており、一刻も早くAEDを実施することが必要な状況です。

公共の場所へのAEDの普及が進む一方で、AEDがどこに置いてあるのかわからない、わかりづらいという声を多くの区民から伺います。私が最近目にしたのが、コンビニエンスストアへのAEDの設置です。

私の住んでいる西水元に隣接した三郷市では、平成24年4月1日から市内のコンビニエンスストア30店舗にAEDを設置して、受け渡し業務を開始しております。コンビニエンスストアに設置することで、24時間いつでも使え、従業員がいることから確実に救命措置の協力を得ることが可能であり、区民にとっても、コンビニエンスストアへ行くとAEDが置いてあると認識がされ、設置場所のわかりづらさが解消できます。

24時間営業しているコンビニエンスストアへのAEDの設置について、検討してみたいかでしょうか。区民の命を守るために、ぜひ葛飾区として、全てのコンビニエンスストアに設置していただきたいと思っております。区のお考えを伺います。



○青木克徳区長

24時間営業のコンビニエンスストアへのAEDの設置について、お答えいたします。

現在、区内に設置しているAEDのうち、24時間使用可能なAEDは、本区が小中学校、地区センター、憩い交流館等の屋外に設置をしている139台のほか、

警察署、交番、消防署等に設置している50台と合わせて189台となっています。ご指摘のありました24時間営業のコンビニストアにAEDを設置した場合、設置施設数が約170カ所ふえることに加え、区民がふだんから店舗を把握していることから、設置施設であることがわかりやすく、また緊急時に店員等の協力が得やすく、1人で対応する区民に安心感が与えられるなどのメリットがあり、区民の命を守るための有効な手段と考えています。



今後につきましては、既にコンビニエンスストアに設置している三郷市や柏市などの先進自治体の状況を参考にしながら、AEDの設置について検討を進めてまいりたいと考えております。

水元総合スポーツセンター  
アクセスバス路線の充実

(29年第4回定例会 一般質問から)

○伊藤よしのり議員

私は、さきの第2回定例会におきましても、水元総合スポーツセンター周辺のバス路線の整備、スポーツセンターへのアクセスの必要性について伺い、区からは、実現に向けて事業者と協議を進めているとの前向きなご答弁をいただきました。

そこで伺います。

イベント時における水元総合スポーツセンターへのバスの現在の混雑状況について、区としてどのように捉えているのか。また、現状ではどのような対策をしているのかについて伺います。

水元総合スポーツセンターに直接乗り入れるバス路線の実現の見通しについて、区の見解を伺います。

○青木克徳区長

水元総合スポーツセンターに直接乗り入れるバス路線の実現の見通しについてのご質問にお答えいたします。

水元総合スポーツセンターに直接乗り入れるバス路線の開設は、スポーツセンター利用者の利便向上はもちろんのこと、沿線地域の交通利便性の向上にも寄与